

染谷俊介、

株式会社竹中工務店 技術研究所、研究主任、

- ・ **テーマ名** : 建築分野において点群データを実務活用するための課題と解決方策

- ・ **発表概要**

建築分野では、適正工期や長時間労働是正に向けた動きや、優秀な人材確保のために、生産性向上や省人化が喫緊の課題となっている。

その中で、情報インフラの整備や BIM の推進活動等によって、設計・計画の段階では 3 次元データを使ったデジタルベースの業務形態が定着しつつある。

施工段階においても、日々の予実管理のために現況の 3 次元データが必ず必要になる。

施工用途においては精緻な現況データが必要であるため、現時点では、レーザー測量で得られる点群データに対する期待が大きく、ハード・ソフト共に市場が成長しつつある。

一方で、点群データは一般の作業所員にとっては扱いが難しく、実務ではまだまだ活用が進んでいない現状がある。

そこで今回は、一般的に頻度の多い工事を題材に、技術と実務の間を繋ぐ業務支援プログラムを開発して効果を検証したので、報告する。

- ・ **自己紹介** :

2007 年に竹中工務店入社。2008 年 から技術研究所に配属、工事現場における ICT 活用分野の研究者として活動中。

専門は 3 次元計測、屋内位置測位、施工 BIM 等。途中、2 年間、生産設計部署と工事現場において施工図、施工管理、BIM マネージャーの実務を担当。

2 年間、本社 BIM 推進部門にて生産系の BIM 基盤整備、技術開発を担当。

社外では、2013 年から現在まで、ゼネコンの業界団体である日本建設業連合会にて BIM 関連 WG の委員を務める。

一級建築士。

